

令和 4 年 8 月 4 日

## 令和 3 年度 特別の教育課程の実施状況等について

沖縄県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
糸満市立糸満小学校（外 4 校）	糸満市教育委員会	公立

## 1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
糸満市立糸満小学校	<a href="http://itomans.school.city.itoman.okinawa.jp/kaiyoukyouiku.html">http://itomans.school.city.itoman.okinawa.jp/kaiyoukyouiku.html</a>
糸満市立糸満南小学校	<a href="http://itomanms.school.city.itoman.okinawa.jp/kaiyoukyouiku.html">http://itomanms.school.city.itoman.okinawa.jp/kaiyoukyouiku.html</a>
糸満市立高嶺小学校	<a href="http://takamines.school.city.itoman.okinawa.jp/kaiyoukyouiku.html">http://takamines.school.city.itoman.okinawa.jp/kaiyoukyouiku.html</a>
糸満市立糸満中学校	<a href="http://itomanc.school.city.itoman.okinawa.jp/policy.html">http://itomanc.school.city.itoman.okinawa.jp/policy.html</a>
糸満市立高嶺中学校	<a href="http://takaminec.school.city.itoman.okinawa.jp/kaiyoukyouiku.html">http://takaminec.school.city.itoman.okinawa.jp/kaiyoukyouiku.html</a>

## 2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
糸満市立糸満小学校	<a href="http://itomans.school.city.itoman.okinawa.jp/kaiyoukyouiku.html">http://itomans.school.city.itoman.okinawa.jp/kaiyoukyouiku.html</a>	<a href="http://itomans.school.city.itoman.okinawa.jp/kaiyoukyouiku.html">http://itomans.school.city.itoman.okinawa.jp/kaiyoukyouiku.html</a>
糸満市立糸満南小学校	<a href="http://itomanms.school.city.itoman.okinawa.jp/kaiyoukyouiku.html">http://itomanms.school.city.itoman.okinawa.jp/kaiyoukyouiku.html</a>	<a href="http://itomanms.school.city.itoman.okinawa.jp/kaiyoukyouiku.html">http://itomanms.school.city.itoman.okinawa.jp/kaiyoukyouiku.html</a>
糸満市立高嶺小学校	<a href="http://takamines.school.city.itoman.okinawa.jp/kaiyoukyouiku.html">http://takamines.school.city.itoman.okinawa.jp/kaiyoukyouiku.html</a>	<a href="http://takamines.school.city.itoman.okinawa.jp/kaiyoukyouiku.html">http://takamines.school.city.itoman.okinawa.jp/kaiyoukyouiku.html</a>
糸満市立糸満中学校	<a href="http://itomanc.school.city.itoman.okinawa.jp/policy.html">http://itomanc.school.city.itoman.okinawa.jp/policy.html</a>	<a href="http://itomanc.school.city.itoman.okinawa.jp/policy.html">http://itomanc.school.city.itoman.okinawa.jp/policy.html</a>
糸満市立高嶺中学校	<a href="http://takaminec.school.city.itoman.okinawa.jp/kaiyoukyouiku.html">http://takaminec.school.city.itoman.okinawa.jp/kaiyoukyouiku.html</a>	<a href="http://takaminec.school.city.itoman.okinawa.jp/kaiyoukyouiku.html">http://takaminec.school.city.itoman.okinawa.jp/kaiyoukyouiku.html</a>

## 3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

## (1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ・ 計画通り実施できている
- 一部、計画通り実施できていない
- ・ ほとんど計画通り実施できていない

## (2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

市内を中心とした海洋に関する企業・施設に「海人科」の授業に参画いただき、実施体制の充実を図ることにより、特別の教育課程を円滑に実施することができている。また、児童生徒の発達段階を考慮し、キャリア教育を網羅した持続可能で系統的な海洋教育カリキュラムの開発を行っている。

## (3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ・実施している
- ・実施していない

### <特記事項>

学校ホームページに教育課程特例校の編成の方針等や昨年度の実施状況及び評価を掲載し、保護者や地域住民等への情報提供として行っている。

## 4. 実施の効果及び課題

### (1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

本特例は、本市の先人たちが築き発展させてきた独自の海洋文化の歴史を学び、体験活動を通して、自分の地域を知るとともに、「海」を教材として現代社会の課題を自らの問題として捉え、課題の解決につなげ、地域や社会の発展に貢献でき、誇りの持てる人材の育成を目指して「海人科」の設置を行うものである。

実際、本特例を実施している糸満小学校、糸満南小学校、高嶺小学校の6学年において、沖縄県児童生徒質問紙調査で、「授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいますか。」の質問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合が、糸満南小学校は+1.1%(昨年度:80.5%→今年度:81.6%)と増えているものの、糸満小学校は-4.9%(昨年度:78.8%→今年度:73.9%)、高嶺小学校は-4.4%(昨年度:80.0%→今年度:75.6%)と減少している。また、「学級生活をよりよくするために話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか。」の質問に対しても、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合が、糸満小学校は-0.8%(昨年度:86.3%→今年度:85.5%)、糸満南小学校は-6.1%(昨年度:87.7%→今年度:81.6%)、高嶺小学校は-8.9%(昨年度:98.0%→今年度:89.1%)といずれの学校も減少している。課題解決のプロセスにおいて個々の積極的な取り組みができていないため、集団としての課題解決の場面においても、解決につながる積極的な関わりが自分自身はできていないと判断している児童が多いと思われる。

一方、高嶺中学校の3学年は「授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいますか。」の質問に対しては+10.6%（昨年度：65.8%→今年度：76.4%）と大幅に増加している。また、「学級生活をよりよくするために話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか。」の質問に対しても+1.9%（昨年度：85.4%→今年度：87.3%）と増加している。自ら課題を解決しようとする姿勢が見られるようになるとともに、集団の中においても互いの意見を尊重しながら話し合い、課題解決に導く力がついてきたといえる。

## （2）学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

本特例を実施している糸満小学校、糸満南小学校、高嶺小学校の6学年及び高嶺中学校の3学年において、沖縄県児童生徒質問紙調査で、「自分には、よいところがあると思いますか。」の質問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合が、糸満小学校は+5.9%（昨年度：73.8%→今年度：79.7%）、糸満南小学校は+6.7%（昨年度：76.2%→今年度：82.9%）、高嶺小学校は+15.1%（昨年度：74.0%→今年度：89.1%）、高嶺中学校は+17.7%（昨年度：80.5%→今年度：98.2%）といずれの学校も昨年度よりも増加し、多様な地域人材との関わりや集団による体験活動で自分に与えられた役割を果たす体験を通して、自己有用感の高まりが見られる。

## 5. 課題の改善のための取組の方向性

4に示すような実施の効果及び課題を踏まえて、小学校においては、一部のできる児童が集団を主導し、課題解決を図っている状態であると考えられ、児童一人一人が積極的に自力解決や集団での課題解決の場面で主体的に関わろうとする意識を高めるという方向で本特例の改善を図ることが必要と考えられる。そのためには、集団で取り組んでいる体験活動や課題解決的な学習等において、話し合いを持って一人一人に役割をしっかりと与え、その役割に責任を持って取り組み、集団での課題解決に貢献できたという自己有用感を持たせることが重要だと考える。よって、小学校だけではなく中学校においてもできる児童生徒の果たす役割が大きな鍵を握っており、単に自分の役割をこなすだけでなく、リトルティーチャー的な役割を担いながら周りの児童生徒を支援するといったお互いの関係性を構築していくことを手立てとしていきたい。